

歯っぴー通信

No. 8

2014年3月発行

むし歯は進行していきます！

歯科医院や学校の歯科検診で「C0、C1、C2・・・」と話しているのを聞いたことはありませんか？これは、むし歯の進行具合を表しています。

C0 (シーオー)

エナメル質の表面が白く濁った状態や溝が茶色になった状態。自覚症状はありません。

C1

エナメル質の中に細菌が侵入して穴が開いた状態。まだ痛みはほとんどありません。

C2

象牙質まで細菌が侵入した状態。冷たい水がしみるようになります。

C3

歯髄（神経）まで細菌が侵入した状態。どんどん痛みがひどくなります。

C4

歯の根だけが残った状態。神経が死んでしまって痛みを感じなくなります。



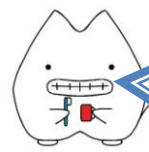
治療しなくていいむし歯があるの？

はい。むし歯なのに削ったり詰めたりしなくていいこともあるのです。それは「C0」と呼ばれるごく初期の段階のむし歯です。この段階のむし歯は毎日のセルフケアで進行を防ぐことができます。

私たちの口の中では脱灰（だっかい）と再石灰化が繰り返されています。飲食するとプラーク（歯垢）中の細菌が酸を作り出し、歯の表面からカルシウムやリンが溶け出します。これを脱灰といいます。脱灰が進んでも唾液などの働きで酸を中和して、溶け出したカルシウムやリンを歯の表面に戻してくれます。これを再石灰化といいます。このバランスが非常に大切で、脱灰よりも再石灰化が促進されれば、C0段階のむし歯なら進行を防ぎ修復できる可能性があるのです。

お勧めなのが、フッ素の入った歯磨剤（できれば泡立ちが少なく、少量のうがいので済むもの）です。フッ素には再石灰化を促進する働きがあるのです。また、むし歯が進行していないかどうか確認するためにも定期的な受診が大切です。

歯の言い伝え



乳歯が抜けたらどうしますか？日本では昔から「下の歯は屋根の上に投げ、上の歯は縁の下に投げ入れる」と言われていますよね。西洋では枕元に置いて寝ると歯の妖精がやってきて、プレゼントと交換してくれると言われています。国によって違うのですね。今は大切に残しておく人も増えていますので、専用のケースもあります。

